



Attorney Docket No. 1614.1184

HJ
IIP
1-22-02

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Jun SUZUKI

Application No.: 09/942,912

Group Art Unit: 2161

Filed: August 31, 2001

Examiner: Unassigned

For: PROCESS FOR MEDIATING PRICE INFORMATION, SYSTEM FOR IMPLEMENTING THEREOF AND COMPUTER READABLE MEDIUM STORING PROGRAM FOR IMPLEMENTING PRICE MEDIATING PROCESS

SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-102265

Filed: March 30, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: January 11, 2002

By: H. J. Staas

H. J. Staas
Registration No. 22,010

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

RECEIVED
JAN 16 2002
Technology Center 2100



日本特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出願年月日
Date of Application:

2001年 3月30日

出願番号
Application Number:

特願2001-102265

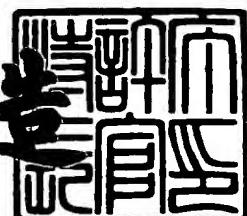
出願人
Applicant(s):

富士通株式会社

RECEIVED
JAN 16 2002
Technology Center 2100

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3074248

【書類名】 特許願

【整理番号】 0150680

【提出日】 平成13年 3月30日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/00

【発明の名称】 價格情報仲介方法

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
株式会社内

【氏名】 鈴木 淳

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100108187

【弁理士】

【氏名又は名称】 横山 淳一

【電話番号】 044-754-3035

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011280

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0017694

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】

価格情報仲介方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】

商品提供者の販売価格情報を利用者に提供する価格情報仲介方法であって、
利用者からの商品検索条件を受信するステップと、
受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格
情報を登録した記憶手段から適合する商品の販売価格を抽出するステップと、
前記抽出した販売価格を利用者に送信するステップと、
前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、
前記希望購入価格を前記商品提供者に送信するステップと、
を備えることを特徴とする価格情報仲介方法。

【請求項2】

商品提供者の販売価格情報を利用者に提供する価格情報仲介方法であって、
利用者からの商品検索条件を受信するステップと、
受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格
と該販売価格に対する許容値引販売価格とを登録した記憶手段から適合する商品
の販売価格を抽出するステップと、
前記抽出した販売価格を利用者に送信するステップと、
前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、
前記希望購入価格が前記許容値引販売価格以上であった場合に、該希望購入価
格を前記商品提供者に送信するステップと、
を備えることを特徴とする価格情報仲介方法。

【請求項3】

商品提供者の販売価格情報を利用者に提供する価格情報仲介方法であって、
利用者からの商品検索条件を受信するステップと、
受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格
情報を登録した第一の記憶手段から適合する商品の販売価格を抽出するステップ

と、

前記抽出した販売価格を前記利用者に送信するステップと、
前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、
前記希望購入価格を第二の記憶手段に格納するステップと、
前記商品提供者の前記第一の記憶手段に格納されている前記販売価格の更新の依頼を受信するステップと、
前記更新の結果、前記販売価格が前記第二の記憶手段に格納されている前記希望購入価格より低くなった場合に、前記利用者に通知するステップと、
を備えることを特徴とする価格情報仲介方法。

【請求項4】

利用者からの商品検索条件を受信するステップと、
受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格情報を登録した記憶手段から適合する商品の販売価格を抽出するステップと、
前記抽出した販売価格を利用者に送信するステップと、
前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、
前記希望購入価格を前記商品提供者に送信するステップと、
をコンピューターに実行させることを特徴とする価格情報仲介プログラム。

【請求項5】

利用者からの商品検索条件を受信するステップと、
受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格と該販売価格に対する許容値引販売価格とを登録した記憶手段から適合する商品の販売価格を抽出するステップと、
前記抽出した販売価格を利用者に送信するステップと、
前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、
前記希望購入価格が前記許容値引販売価格以上であった場合に、該希望購入価格を前記商品提供者に送信するステップと、
をコンピューターに実行させることを特徴とする価格情報仲介プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネット上の商品価格情報提供サイトにおける、価格情報仲介サービスに関する。

【0002】

【従来の技術】

ネット上の販売サイトにおいて、利用者に対する商品の照会情報や販売金額情報の提供が行われている。例えば、利用者が販売サイト上で、所望する商品の条件を設定して検索を行うと、合致する商品を扱う店舗とその販売価格や特典などを一覧表示するものである。利用者は、表示された一覧から希望する店舗を選択して購入指示を出す。この指示により発注が完了し、店舗は利用者に対して商品を配送する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

ところが、上記既存サービスにおいては、利用者が各店舗の販売価格を知ることはできるが、店舗は利用者が購入しようとしている価格を知ることはできなかった。つまり、店舗は自分で思っている販売価格を設定して利用者に提示しているだけで、本当に利用者が購入に適当と考えている価格を知ることができていなかった。

【0004】

また、利用者も店舗から一方的に提示されている金額を見て、購入の可否を判断するだけで、自分の希望する価格を店舗に提示することができていなかった。

【0005】

そのため、店舗の販売希望価格と、利用者の購入希望価格を仲介するサービスが望まれていた。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は、利用者からの商品検索条件を受信するステップと、受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格情報を登録した記憶手段から適合する商品の販売価格を抽出するステップと、前記抽出した販売価

格を利用者に送信するステップと、前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、前記希望購入価格を前記商品提供者に送信するステップと、を備えることで上記の課題を解決するものである。

【0007】

【発明の実施の形態】

本発明の一実施の形態に係るシステム概要を図1を用いて説明する。販売仲介サイト101は、本実施の形態において中心的なシステムであって、例えば一つの販売店が運用するものであったり、複数の販売店が共同で出資して運用するものであったりする。

【0008】

販売仲介サイト101には、インターネットを介して、利用者端末109が接続される。この利用者端末109は、インターネットに接続してブラウジングできるものであれば、パソコンであっても携帯電話であっても構わない。

【0009】

また、販売仲介サイト101には、インターネットを介して、更に店舗端末110が接続される。この店舗端末110も、インターネットに接続してブラウジングできるものであれば、パソコンであっても携帯電話であっても構わない。

【0010】

販売仲介サイト101には、利用者端末109や店舗端末110からの情報を受信する受信プログラム102、利用者端末109や店舗端末110へ情報を送信する送信プログラム103、受信プログラム102で受信した情報を登録するデータ登録プログラム104、利用者端末109や店舗端末110へ提供する情報を編集する情報提供プログラム105、商品情報を格納する商品ファイル106、利用者情報を格納する利用者ファイル107、利用者の希望購入価格を格納する希望購入価格ファイルが含まれる。

【0011】

次に図2を用いて、販売仲介サイト101が商品情報を登録するフローを説明する。まず、店舗側の担当者は、店舗端末110を操作し、インターネットを介して販売仲介サイト101に接続する。そして、販売仲介サイト101はS20

1において、店舗端末110より商品登録情報を受信する。

【0012】

これは、例えば、店舗名として「A商店」、商品名として「パソコンC」、販売価格として「100,000」、連絡先電子メールアドレスとして「MAIL@A.c
o.m」といった情報である。

【0013】

ここで、更に許容値引販売価格として「90,000」という情報も送信する。これは、通常の販売価格としては「100,000」という設定であるが、利用者が望む場合に、最低限度額として設定する販売価格である。

【0014】

販売仲介サイト101は、上記商品登録情報を受信すると、S202で商品ファイル106に商品登録情報を登録する。

【0015】

商品ファイル106で保持する情報の例を、図5の501に示す。この例では、商品ファイル106は店舗名、商品名、販売価格、許容値引販売価格、電子メールアドレスを保持しており、上記で登録したレコードはこの例では1レコード目のように格納される。

【0016】

この商品ファイル106は、利用者端末109に公開するWEBページから照会される。

【0017】

次に図3を用いて、販売仲介サイト101が利用者端末109から希望購入価格を受信するフローを説明する。

【0018】

まず、利用者は、利用者端末109を操作し、販売仲介サイト101に接続する。そして、S301で商品検索情報を販売仲介サイト101に送信する。販売仲介サイト101は、S302で上記商品検索情報を受信する。

【0019】

例えば、この場合、利用者を山田太郎とする。利用者の情報は、予め販売仲介

サイト101の利用者ファイル107に格納されている。

【0020】

利用者ファイル107で保持する情報の例を、図5の502に示す。この例では、利用者ファイル107は利用者ID、利用者名、住所、電話番号、電子メールアドレスを保持しており、上記利用者の山田太郎のレコードはこの例では1レコード目のように格納される。

【0021】

そして、利用者の検索キーが「パソコンC」であった場合、S303で商品ファイル106を検索する。

【0022】

次に、S304で利用者の検索キーに合致する商品が商品ファイル106に格納されているかを調査する。もし、該当するレコードが見つからなかった場合は、S305で利用者端末109に再検索依頼を送信する。この場合、検索キーは「パソコンC」であるので、商品ファイル106の商品名が「パソコンC」であるレコードを検索する。

【0023】

その結果、1レコード目の「A商店」と、3レコード目の「B商店」の2レコードが合致する。この2レコードの情報を基に、図6の601の画面をS306で利用者端末に送信する。

【0024】

図6の601は、検索結果表示画面であり、ヘッダに利用者ID「123」、利用者氏名「山田太郎」、検索条件「パソコンC」が表示されている。また、ボディには、店舗名と販売価格からなる検索結果が表示されている。

【0025】

S307で利用者が検索結果画面601を受信すると、S308で、利用者が表示された店舗の中のいずれかの店舗から購入する場合は、まず検索結果画面601に表示された店舗のうち、購入する店舗を選択し、その店舗名の左にあるチェックボックスをクリックする。

【0026】

次に、「チェックした店舗に注文する。」のラジオボタンをクリックする。その後、検索結果表示画面601のテールにある決定ボタンを押下すると、S309で販売仲介サイト101に購入依頼が送信される。

【0027】

S308で、利用者が希望する販売価格を提示する店舗がない場合、S310で希望購入価格を登録するかを判断する。もし、利用者が購入を断念する場合は、検索結果表示画面601のテールにあるcancelボタンを押下すると、当処理は終了する。

【0028】

S310で利用者が購入を断念せず、とりあえず購入希望価格を登録しておくと判断した場合は、検索結果表示画面601にある「今日は購入しないが、購入希望価格を登録する。」のラジオボタンをクリックする。そして、その下の「購入希望価格」に購入を希望する価格を入力する。その後、検索結果表示画面601のテールにある決定ボタンを押下すると、S311で販売仲介サイトに希望購入価格が送信される。

【0029】

S312で希望購入価格を受信した販売仲介サイト101は、S313で希望購入価格ファイル108に利用者の希望購入価格を格納する。

【0030】

希望購入価格ファイル108で保持する情報の例を、図5の503に示す。この例では、希望購入価格ファイル108は利用者ID、商品名、希望購入価格を保持しており、上記受信した希望購入価格は、この例では1レコード目のように格納される。

【0031】

次に販売仲介サイト101は、S314で店舗端末110に上記レコードの情報を送信する。これは、販売仲介サイト101に登録されている全ての店舗端末に送信してもよいし、該当する商品を扱っている店舗の端末を抽出して送信してもよい。

【0032】

更に、全ての店舗端末ではなく、ある条件に合致した店舗のみに送信することも考えられる。例えば、商品ファイル106の「許容値引販売価格」を確認して、利用者が登録した希望購入価格以下の「許容値引販売価格」を登録している店舗にのみその希望購入価格情報を送信するといった方法である。

【0033】

このようにすれば、店舗側で不要な情報、例えばいたずらで低い希望購入価格を登録された情報などが送信されなくてすむという功を奏する。

【0034】

送信する情報は、例えば、商品名「パソコンC」、希望購入価格「80,000」である。店舗端末110は、S315でこの希望購入価格情報を受信する。

【0035】

店舗側担当者は、この希望購入価格情報を受信すると、S316でその価格での販売可否を判断する。もし、その価格での販売が不可能であった場合には、特に何も返信しない。もし、その価格での販売が可能であった場合には、S317で販売許諾通知を送信する。この場合の通知内容は、例えば商品名「パソコンC」、販売許諾価格「80,000」である。

【0036】

S318で販売許諾通知を受信した販売仲介サイト101は、S319で利用者端末109に販売許諾通知を送信する。この場合の通知先の宛先については、まず店舗端末110から受信した販売許諾通知の商品名「パソコンC」を基に希望購入価格ファイル503を検索し、利用者ID「123」を得る。

【0037】

その後、上記利用者ID「123」を基に利用者ファイル502を検索し、利用者名「山田太郎」、電子メールアドレス「Yamada@xxx.com」を得る。これが通知先の宛先となり、この電子メールアドレス宛に販売許諾通知を送信することになる。

【0038】

利用者はS320で、販売仲介サイト101からの販売許諾通知を受信し、例えばその通知に記載された店舗端末のメールアドレスに購入依頼を送信するなど

して、希望購入価格による購入が可能となる。

【0039】

次に図4を用いて、店舗端末110からの販売価格更新情報に基づく、販売仲介サイト101の処理フローを説明する。

【0040】

まず、店舗端末110は、販売仲介サイト101に販売価格更新情報を送信する。例えば、商品ファイル501の4レコード目に商品名「マウス」を登録しているC商店が、この販売価格及び許容値引販売価格を更新する場合、店舗名「C商店」、商品名「マウス」、販売価格「500」、許容値引販売価格「200」という販売価格更新情報を送信したとする。

【0041】

S402で販売仲介サイトは上記販売価格更新情報を受信する。そして、S403で、受信した販売価格更新情報の店舗名「C商店」、商品名「マウス」を検索キーとして商品ファイル501を検索する。

【0042】

そして合致したレコードの販売価格及び許容値引販売価格を受信した情報に更新する。更新したあとの当該レコードは、店舗名「C商店」、商品名「マウス」、販売価格「500」、許容値引販売価格「200」、電子メールアドレスmail@C.comとなる。

【0043】

S403で商品ファイル501を更新した販売仲介サイト101は、S404で、希望購入価格ファイル108に、上記更新された商品の希望購入価格を登録している利用者がいるかどうかを検索する。

【0044】

希望購入価格ファイル108に合致するレコードが存在しない場合は、特に何もしない。

【0045】

この場合、希望購入価格ファイル503には、利用者ID「567」の利用者が、商品名「マウス」に対する希望購入価格「200」を登録していることがわ

かる。

【0046】

この利用者は、当初マウスを200円で購入しようとしたが、その時にはその価格で販売する店舗がなく、希望購入価格を登録していたことがわかる。そして、今回のC商店の価格更新により、この利用者の購入希望価格での購入が可能となった。

【0047】

次に販売仲介サイト101は、S405で利用者端末109に販売価格更新情報を送信する。この場合の通知先の宛先については、希望購入価格ファイルの利用者ID「567」を基に利用者ファイル502を検索し、利用者名「鈴木鱸」、電子メールアドレス「suzuki@xxx.com」を得る。これが通知先の宛先となり、この電子メールアドレス宛に販売価格更新情報を送信することになる。

【0048】

利用者はS406で、販売仲介サイト101からの販売価格更新情報を受信し、例えばその通知に記載された店舗端末のメールアドレスに購入依頼を送信するなどして、希望購入価格による購入が可能となる。

(付記1)

商品提供者の販売価格情報を利用者に提供する価格情報仲介方法であって、
利用者からの商品検索条件を受信するステップと、
受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格
情報を登録した記憶手段から適合する商品の販売価格を抽出するステップと、
前記抽出した販売価格を利用者に送信するステップと、
前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、
前記希望購入価格を前記商品提供者に送信するステップと、
を備えることを特徴とする価格情報仲介方法。

(付記2)

商品提供者の販売価格情報を利用者に提供する価格情報仲介方法であって、
利用者からの商品検索条件を受信するステップと、

受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格と該販売価格に対する許容値引販売価格とを登録した記憶手段から適合する商品の販売価格を抽出するステップと、

前記抽出した販売価格を利用者に送信するステップと、

前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、

前記希望購入価格が前記許容値引販売価格以上であった場合に、該希望購入価格を前記商品提供者に送信するステップと、

を備えることを特徴とする価格情報仲介方法。

(付記3)

商品提供者の販売価格情報を利用者に提供する価格情報仲介方法であって、

利用者からの商品検索条件を受信するステップと、

受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格情報を登録した第一の記憶手段から適合する商品の販売価格を抽出するステップと、

前記抽出した販売価格を前記利用者に送信するステップと、

前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、

前記希望購入価格を第二の記憶手段に格納するステップと、

前記商品提供者の前記第一の記憶手段に格納されている前記販売価格の更新の依頼を受信するステップと、

前記更新の結果、前記販売価格が前記第二の記憶手段に格納されている前記希望購入価格より低くなった場合に、前記利用者に通知するステップと、

を備えることを特徴とする価格情報仲介方法。

(付記4)

利用者からの商品検索条件を受信するステップと、

受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格情報を登録した記憶手段から適合する商品の販売価格を抽出するステップと、

前記抽出した販売価格を利用者に送信するステップと、

前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、

前記希望購入価格を前記商品提供者に送信するステップと、

をコンピューターに実行させることを特徴とする価格情報仲介プログラム。

(付記5)

利用者からの商品検索条件を受信するステップと、

受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格と該販売価格に対する許容値引販売価格とを登録した記憶手段から適合する商品の販売価格を抽出するステップと、

前記抽出した販売価格を利用者に送信するステップと、

前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、

前記希望購入価格が前記許容値引販売価格以上であった場合に、該希望購入価格を前記商品提供者に送信するステップと、

をコンピューターに実行させることを特徴とする価格情報仲介プログラム。

(付記6)

利用者からの商品検索条件を受信するステップと、

受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格情報を登録した第一の記憶手段から適合する商品の販売価格を抽出するステップと、

前記抽出した販売価格を前記利用者に送信するステップと、

前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、

前記希望購入価格を第二の記憶手段に格納するステップと、

前記商品提供者の前記第一の記憶手段に格納されている前記販売価格の更新の依頼を受信するステップと、

前記更新の結果、前記販売価格が前記第二の記憶手段に格納されている前記希望購入価格より低くなった場合に、前記利用者に通知するステップと、

をコンピューターに実行させることを特徴とする価格情報仲介プログラム。

【0049】

【発明の効果】

店舗は、利用者の希望購入価格がわかるため、利用者の考えている本当の商品の価値がわかる。また、わざわざ許容値引販売価格を提示せずに販売価格だけ提示し、利用者からの希望購入価格を受けることにより、よけいな情報を提示しな

くても販売機会を失うことを防ぐことが可能になる。更に、複数の店舗がそれぞれ販売価格を登録することにより、他店の販売価格を参照することができるため、自店舗の販売価格の見直しが容易になるという功を更に奏する。

【0050】

また、利用者は、自分の購入希望価格を提示することにより、希望の価格で購入することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明のシステム概要図である。

【図2】

商品情報の登録処理のフローを示すフローチャートである。

【図3】

希望購入価格の登録処理のフローを示すフローチャートである。

【図4】

販売価格の更新処理のフローを示すフローチャートである。

【図5】

商品ファイル、利用者ファイル、希望購入価格ファイルの一例を示す図である

【図6】

検索結果表示画面の一例を示す図である。

【符号の説明】

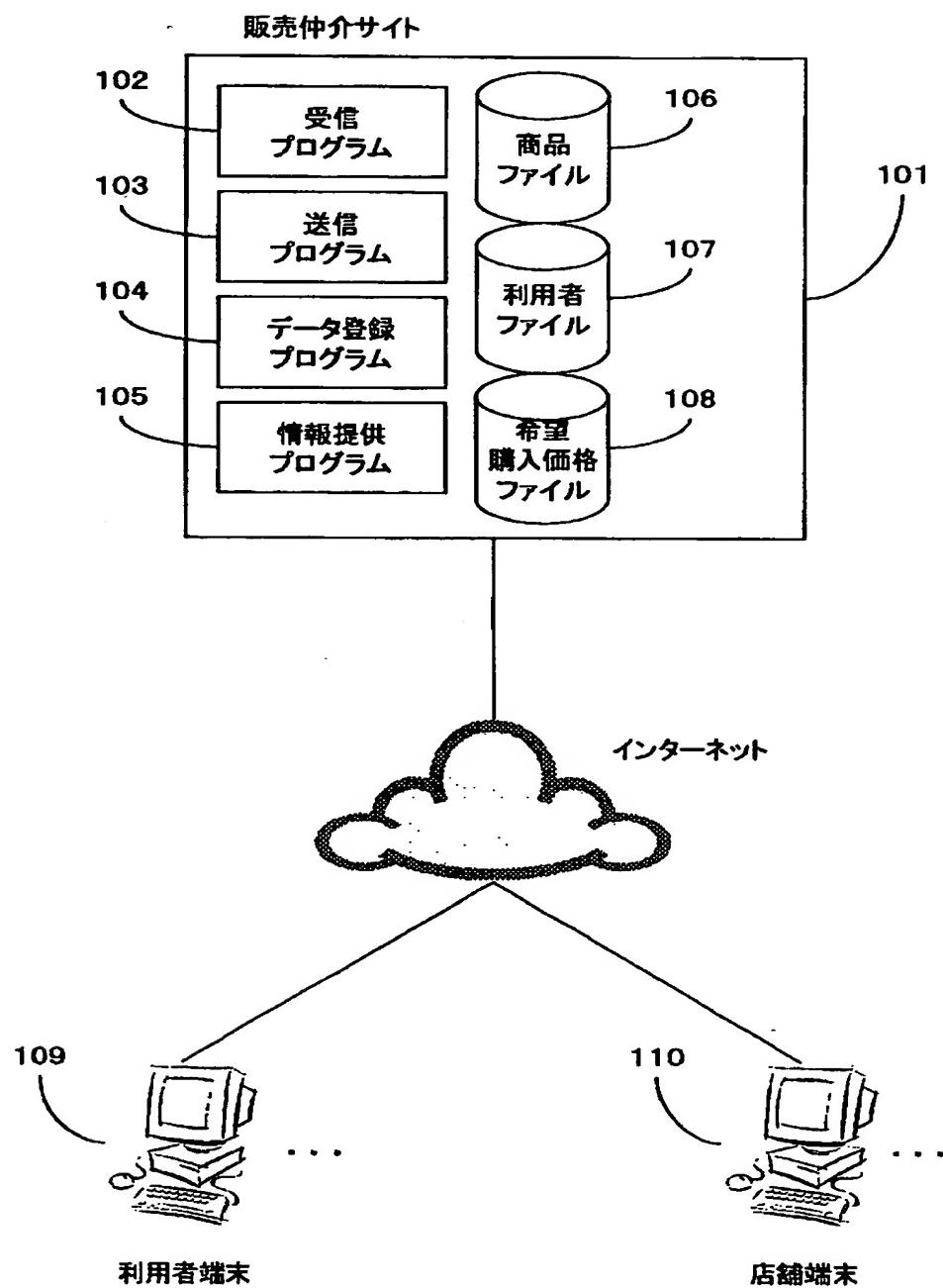
- | | |
|-----|------------|
| 101 | 販売仲介サイト |
| 102 | 受信プログラム |
| 103 | 送信プログラム |
| 104 | データ登録プログラム |
| 105 | 情報提供プログラム |
| 106 | 商品ファイル |
| 107 | 利用者ファイル |
| 108 | 希望購入価格ファイル |

109 利用者端末

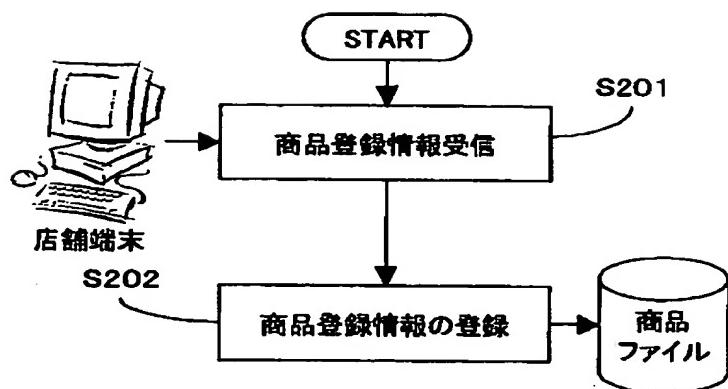
110 店舗端末

【書類名】 図面

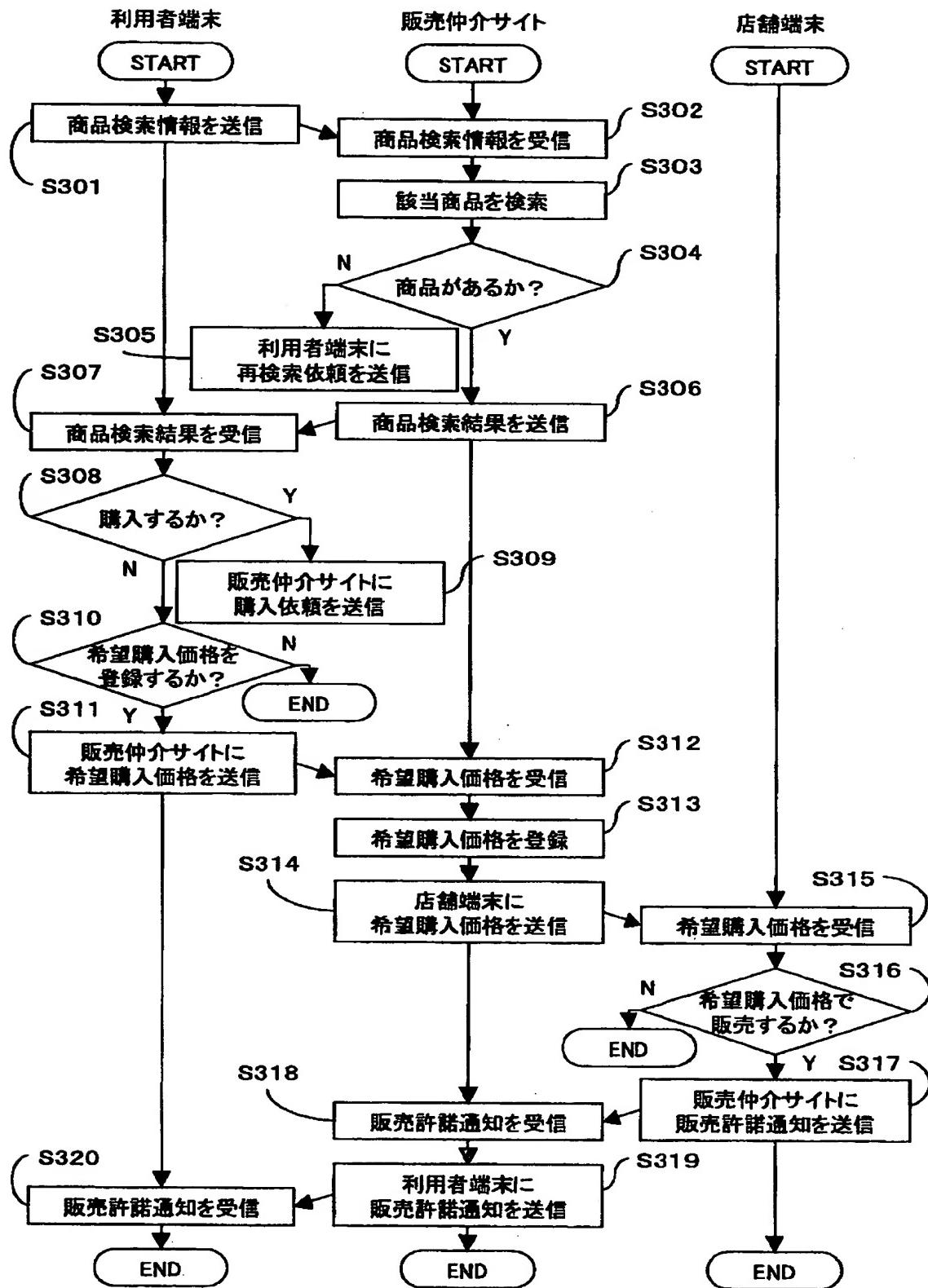
【図1】



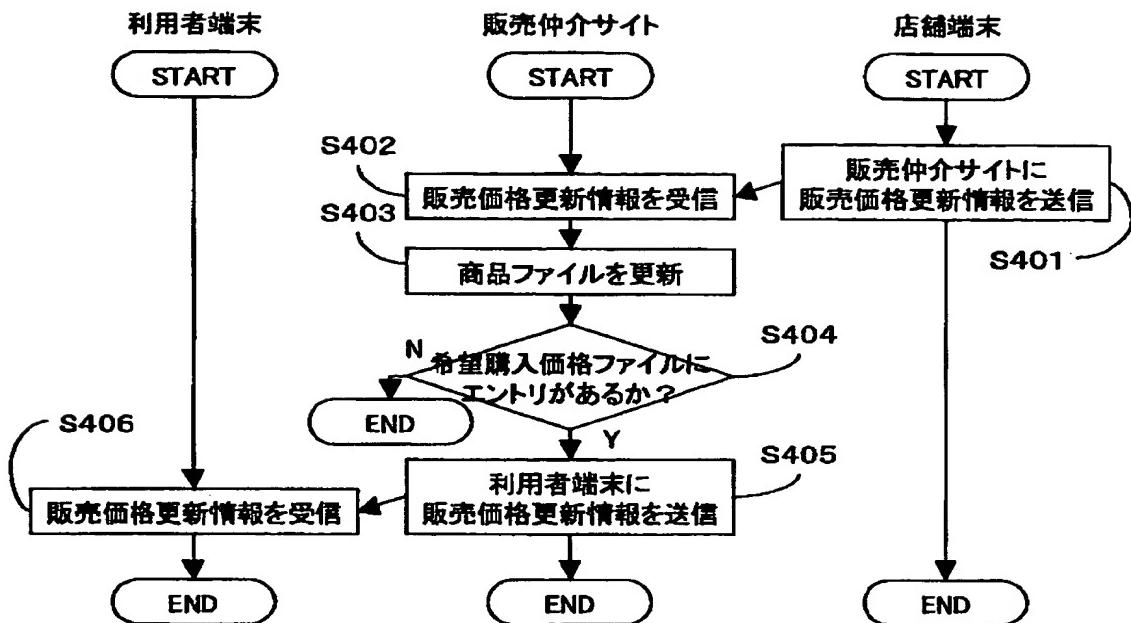
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

商品ファイル

501

店舗名	商品名	販売価格	許容値引 販売価格	電子メール アドレス
A商店	パソコンC	100,000	90,000	mail@a.com
A商店	パソコンD	200,000	190,000	mail@a.com
B商店	パソコンC	110,000	100,500	mail@b.com
C商店	マウス	10,000	9,000	mail@c.com
:				

利用者ファイル

502

利用者ID	利用者名	住所	電話番号	電子メール アドレス
123	山田太郎	神奈川県川崎市 中原区1-2-3	123-4567	yamada@xxx.com
456	佐藤花子	神奈川県横浜市 鶴見区4-5-6	890-1234	sato@xxx.com
567	鈴木鯉	神奈川県 小田原市567	567-8901	suzuki@xxx.com
:	:			

希望購入価格ファイル

503

利用者ID	商品名	希望購入価格
123	パソコンC	80,000
567	マウス	200
:		

【図6】

601

検索結果表示画面

利用者ID:123 利用者名:山田太郎様
検索条件「パソコンC」に合致する商品を表示しています。

以下のいずれかを選択して
決定ボタンを押してください。

	店舗名	販売 価格
<input checked="" type="checkbox"/>	A商店	100,000
<input type="checkbox"/>	B商店	110,000

チェックした店舗に注文
する。
 今回は購入しないが、
購入希望価格を登録す
る。

購入希望価格:

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 利用者が各店舗の販売価格を知ることはできるが、店舗は利用者が購入しようとしている価格を知ることはできなかった。つまり、店舗は自分で思っている販売価格を設定して利用者に提示しているだけで、本当に利用者が購入に適当と考えている価格を知ることができていなかった。

【解決手段】 利用者からの商品検索条件を受信するステップと、受信した前記利用者からの商品検索条件に基づき、商品提供者が予め販売価格情報を登録した記憶手段から適合する商品の販売価格を抽出するステップと、前記抽出した販売価格を利用者に送信するステップと、前記利用者の希望購入価格を受信するステップと、前記希望購入価格を前記商品提供者に送信するステップと、を備えることで上記の課題を解決するものである。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社